

特定非営利活動法人トムトム

令和4年度 事業報告(案)

社外秘

※関係者以外閲覧禁止

法人全体

1、基本理念

ハンディのある方とご家族が地域の暮らしの中でノーマライゼーションを実現するためには、利用者が選択できる豊かなサービスが必要です。トムトムはパーソナルサービスを提供するシステムの中で、年齢やその障がいの種別にかかわらず、利用者主体のサービスの確立をめざします。

2、運営方針

- (1) 利用者本人を主体とした個人の生活、活動の場と支援体制の充実を目指す。
- (2) 利用者の権利擁護とサービスの向上を目指して、事故と虐待を防止し、権利擁護推進のための活動をすすめる。
- (3) 地域の関係団体や施設等と連携を図り、地域福祉のネットワークづくりを目指す。
- (4) 職員の資質向上を目的として、研修や人事管理制度の整備を目指す。
- (5) 安定したサービスが提供できるよう、労働条件、職場環境等の整備を図る。
- (6) 適切な財務管理と会計処理システムに努め、信頼性の高い効果的、効率的な経営体制を目指す。

3、重点課題

- (1) 安心できるより良いサービス提供の実現
 - ① 本人を尊重した個別支援計画の作成
 - ② 本人を主体とした実践の振り返り
- (2) 新型コロナウイルス感染症予防と対策
 - ① 厚生労働省より打ち出されている感染症対策ガイドラインや感染対策マニュアルを参考にしながら、職員ひとりひとりが新型コロナウイルスについて正しい認識を持つとともに、感染対策マニュアルを通して、基本的な感染症対策を含めた共通理解を深めるよう、引き続き努めていく。
 - ② 利用者や職員に万が一、新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について、事態に迅速に対処するために、あらかじめ作成した対応マニュアルに沿って法人本部が指揮を執り、関係機関等と連携対応する。
- (3) 安定した運営の実現
 - ① 法人内事業所間の情報共有と連携体制の強化
 - ② 人事制度に伴うキャリアアップ制度の運用と見直し
 - ③ 人材育成のための職員研修の実施
- (4) 事業展開と今後の見通し
 - ① 就労支援事業の作業に伴う他法人との連携と、体制の強化
 - ② 指定共同生活援助に関する事業の検討

4、 会議行事等(総会・理事会等)

会議名	種別	開催日	内容
監査	定時	令和4年5月23日	令和3年度事業に係る理事の業務執行状況及び法人の財産の状況の監査
理事会	第1回	令和4年5月30日	①令和3年度事業報告(案) ②令和3年度決算報告(案)及び監事監査報告
総会	定時	令和4年5月30日	①令和3年度事業報告(案) ②令和3年度決算報告(案)及び監事監査報告 ③役員選任 ④令和4年度事業計画(案) ⑤令和4年度予算(案)
理事会	第2回	令和4年11月24日	①令和4年度上半期事業報告(案) ②令和4年度上半期決算報告(案) ③規程改定(案)
	第3回	令和5年3月30日	①令和5年度事業計画(案) ②令和5年度予算(案) ③規程改定(案)

5、 会員

正会員36名、賛助会員29件

6、 事業運営

事業所名	所在地	事業種別	事業(サービス)名	サービス提供地域
本部	西真土		法人本部業務,総務(経理・労務・庶務)	
トムトム相談室	南原	障害福祉サービス	計画相談支援,障害児相談支援	茅ヶ崎市 平塚市
茅ヶ崎支部	萩園		放課後等デイサービス	茅ヶ崎市 寒川町
			からんころん	
	とむ郎		共同生活援助	
	モンキーポッド		茅ヶ崎市日中一時支援	
平塚支部	えぼつくハウス		生活介護	平塚市
	やなぎこんぶ		就労継続支援B型	
	キャロット工房		平塚市日中一時支援	
	えぼハウ		放課後等デイサービス	
	ゆうゆうクラブ		移動支援	
ぶんぶん	南原	自由契約	個別支援(パーソナル)	

7、施設管理業務

(1) 建物の状況

No	所在地	床面積	事業所
1	平塚市南原2-4-5 マインズビル1階	206.25 m ²	ぶんぶん,えぼっくハウス,トムトム相談室
2	平塚市南原2-4-5 マインズビル403号室	41.25 m ²	
3	茅ヶ崎市香川4-21-12	148.65 m ²	とむ郎
4	平塚市中原2-6-63	101.84 m ²	やなぎこんぶ
5	平塚市西真土1-7-62	126.37 m ²	キャロット工房
6	平塚市西真土1-7-56	130.00 m ²	グリーン工房,本部
7	平塚市城所1382	162.47 m ²	アンヌ
8	平塚市御殿1-7-6	118.38 m ²	ゆうゆうクラブ
9	茅ヶ崎市萩園2336-2	198.78 m ²	からんころん
10	平塚市御殿1-33-21	59.52 m ²	えぼハウ
11	茅ヶ崎市萩園1602	198.74 m ²	あいあいクラブ,モンキーポッド

(2) 駐車場の状況

No	所在地	台数	No	所在地	台数
1	茅ヶ崎市萩園2336-1	14 台	10	平塚市南原2-2-13	3 台
2	茅ヶ崎市萩園1624	10 台	11	平塚市南原2-4-7	5 台
3	茅ヶ崎市香川4-400-1	3 台	12	平塚市南原2-4-9	5 台
4	平塚市御殿1-7-17	4 台	13	平塚市西真土1-1512-1	5 台
5	平塚市御殿1-23-3	2 台	14	平塚市西真土1-1521-1	4 台
6	平塚市御殿1-1111-4	2 台	15	平塚市西真土1-1512-3	1 台
7	平塚市御殿1-112-3	8 台	16	平塚市西真土1-10-1421-1	2 台
8	平塚市南原2-3-11	1 台			
9	平塚市南原2-8-14	5 台			
合 計					74 台

(3) 法人所有車両

事業所	車両	事業所	車両
本部	1 台	やなぎこんぶ	1 台
あいあいクラブ	3 台	キャロット工房	5 台
モンキーポッド	2 台	ゆうゆうクラブ	3 台
とむ郎	1 台	からんころん	5 台
えぼっくハウス	10 台		
合計			31 台

(4) 什器備品・リース

No	主な備品資産	台数
1	SAORI織機	3
2	リヤカー	1
3	パソコン	22

No	リース契約	台数
1	はちろう君(成型機)	1
2	まぜろう君(攪拌機)	1
3	オフィス電話	25
4	複合機	6
5	プリンター	1
6	サーバー	2
7	パソコン	23
8	給与・人事奉行(ソフトウェア)	1
9	おりこうブログ(ソフトウェア)	1
10	MIRAIZ(ソフトウェア)	2
11	ヴォクシー(車両)	1

(5) 主なITソフト

No	種類	ソフト名
1	給与	OBC 給与奉行 給与計算ソフト
2	会計	TKC 会計ソフト
3	介護請求	真 障害者自立支援法対応 介護派遣コーディネイトシステム
4	介護請求	ミスヘルパー請求システム
5	管理	ミスヘルパー預り金管理システム
6	グループウェア(*)	サイボウズ
7	人事	OBC 人事奉行 人事管理ソフト
8	労務	OBC 就業奉行 勤怠管理ソフト

*組織内の情報共有のためのシステムソフト

8、 職員体制

令和5年3月末時点

	部長	課長	主任	リーダー	一般職	看護師	合計
常勤	2	4	3	5	18		32
嘱託					2		2
非常勤					70	3	73
アルバイト							0
合計	2	4	3	5	90	3	107

※組織図別紙1参照

9、 職員研修

研修名	開催日	内容
常勤会議研修	7月6日	「福祉サービスにおける利用者の権利擁護と虐待防止について」 講師:トムトム理事/(福)翔の会松永徹氏
	10月19日	全国放課後連絡会第49回研修内容を学習 ～子どもの内面への共感的理解こそ、実践の要～ 講師:全国放課後連副会長 ゆうやけ子どもクラブ代表 村岡真治氏
職員研修	11月9日	「福祉サービスにおける利用者の権利擁護と虐待防止について」 講師:トムトム理事/(福)翔の会松永徹氏

研修名	開催日	内容
常勤会議研修	11月16日	ご利用者のご家族のお話から ～私たちが大切にしなければいけないこと～ 講師:ご利用者のご両親
	2月19日	強度行動障がいの本人中心支援のあり方を考える 講師:トムトム理事/(福)翔の会松永徹氏
法人全体研修	3月11日	ハンセン病問題の正しい理解と人権擁護を考える 講師:国立ハンセン病資料館 事業部社会啓発課 課長 学芸員 大高俊一郎氏

10、内部会議の開催

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹部会議	0	1	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0
常勤全体会議	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1
会計会議	1	1	1	1	1	1	1	0	2	1	0	2
労務会議	1	2	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1
Logical会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

11、職員の福利厚生

- (1) 健康診断費用の助成(常勤職員と社会保険加入の非常勤職員が対象)
- (2) インフルエンザ予防接種費用の助成
- (3) 新人歓迎会・職員親睦会等の費用の助成→コロナウイルス感染拡大防止の為に中止

12、役員数

理事6名、監事1名

13、苦情処理

なし

14、総括

(1) 新型コロナウイルス感染症予防と対策

今期は、12月頃まで複数の事業所内で新型コロナ感染の報告が相次ぎ、感染経路の確認や、都度、利用者ご家族や職員への連絡に追われた。保健所の指導の下、感染を防ぐために閉所をしたことにより、感染拡大することなく抑えることができた。

(2) 安定した事業の実現

① 上半期は県内でも新型コロナの感染者率が高く、職員全体研修会や毎月の常勤職員会議も2回しか開催できず、職員同士の情報共有の場が少なかった。この状況を打開すべく、下半期は各事業所ごとにWeb会議が行えるようにインフラを整えて実施した。

Web会議では、とくに福祉経験の少ない職員向けに基礎的な研修会を多く取り入れた。コロナ禍の3年間、職員同士で実際に会う機会が少なくなっていたので、Web会議を導入したことにより、情報共有が出来るようになった。

②今年は10月の最低賃金の大幅な改定を見越し、下からの突き上げ分も加味して、例年より高額なベースアップとなった。こうして毎年、人件費が逼迫してきている。それに加え、世間の物価の高騰により、光熱水費やガソリン代等も、昨年と比べると影響が出ている。

現在、法人の収入源の大半は国事業の介護報酬となっている中で、今後も毎年上がる人件費と物価高騰問題を踏まえ、世の中の情勢に常にアンテナを張りながら、中長期計画を立てる必要がある。今後も顧問の会計事務所に助言をいただき、情報交換しながら事業展開を行う。

③上半期は、車輛の物損事故が多発し、保険を使う回数が例年に比べて多かったため、次年度の保険料率が上がる。これを踏まえて、車輛委員会を通して、車輛の事故防止のために安全運転講習の受講や、毎月のひやりはっと、事故報告の振り返りを行うなど、安全運転、事故防止の徹底を職員に周知する。

IT委員会

1、目的

法人規模が拡大したことにより、法人の管理体制の見直しが急務となっている。

IT環境整備の観点から職員のパソコン等のスキル向上を目指すとともに、職員間、事業所間の情報共有やファイル管理について、法人全体の管理統制システムの強化を目指す。

ITシステムを上手に活用して、請求システム、ファイル保管、ファイル管理の保守強化等、業務効率化を目指す。

2、重点課題

- ① パソコンをはじめとするIT機器の運用、管理等が適切に行われているかを調査して、課題への対応を行う。
- ② 新しく導入する勤怠管理システムを円滑に運用していけるように各部署と連携し、必要な支援を実施する。
- ③ 支援の現場や事務処理に関してIT機器をどのように有効活用していくか検討する。

3、総括

- ① 今年度は、法人内部会議をWEB会議用アプリを使用して開催できるように、全事業所に必要な整備と環境を整えたことでWEB会議が定着した。パソコンを使用する頻度が増加したことで、一部は、動作が遅いなど使用しづらいパソコンがあることが課題として浮上したが、来年度中に、全45台中のリースパソコン22台の入替を予定しているため、この問題は解消される予定。
- ② サーバーの入替については年度内に実施ができなかったため、来年度入替を行う。
- ③ 法人携帯電話は、機種変更を行い、新機種の設定作業を行った。

安全委員会

1、目的

労働安全衛生法に基づき、安全委員会において、労働者の危険防止に対する対策や労働災害の原因および再発防止対策で安全に係るものに関することについて十分な調査審議を行う。

2、重点課題

- ① 地震避難訓練・火災通報訓練については、各事業所の実情に即した形でより効果的に実施できるようにしていく。委員会業務としての準備や手配なども効率化していきたい。
- ② 防災備蓄品は、新しい生活様式に合わせた形で適時見直しを行い、食料品など期限のあるものは効率的に入れ替えを行っていく。
- ③ AEDの有効活用を目指し、必要な研修や設備などを手配する。各事業所への設置も検討していく。

3、総括

- ① 地震訓練は9月、火災通報訓練は11月に行った。利用者の誘導の仕方や防災備品の保管場所の把握など、各事業所で課題が上がっている。職員体制の問題で避難ができなかったり、コロナウイルスで閉鎖となり、訓練ができなかった事業所があった。また二つの訓練の実施時期の間隔をもう少しあけた方が効果的だったと思われる。
- ② 防災備蓄品の点検は1,2月に行った。今までは不足分を法人全体で一括で購入していたが、今回は各事業所で注文を行った。1ヶ所に納品されたものを各事業所に配布するよりも効率的に購入ができた。
- ③ AED救命講習は感染症対策の問題や講習の時間、費用などの面を考慮し、実施できなかった。AEDを有効活用するためにも、次年度は講習をできるように調整をしていきたい。

安全委員会(車両)

1、目的

法人所有車両の増加に伴い、事業所毎に管理担当者を選任するとともに、安全に運行、運転を行うための研修・情報共有・啓発活動を行い、車両事故ゼロを目指す。

2、重点課題

- ① 車両事故件数が増加しているため事故原因を追究し、事故防止に向けた啓発活動に力を入れる。
- ② 各事業所の車両管理担当者と連携し、車両点検簿を活用して車両の整備状況を把握することで、常に安全に運行できる状態を維持する。
- ③ 運転技術や知識の向上のため、感染症予防を徹底しながら職員向けの研修を実施していく。

3、総括

- ① アルコール検査記録簿は2パターンを2つの拠点でテスト試用し、その検証、内容の改善等を繰り返したため、年度内の配布が出来なかった。
- ② 各事業所の協力により年間通じて車両点検簿を活用した定期的な点検を実施した。
- ③ 車両関係の事故報告、ひやりはっと報告の内容について検証したことをどう伝えていくべきかが課題。
- ④ 啓発活動による事故防止の呼びかけが出来なかった。
- ⑤ 安全運転講習の受講が出来なかった。新規ドライバーが増えているので来年度は実施したい。

衛生委員会

1、目的

労働安全衛生法に基づき、衛生委員会において、労働者の健康障害防止や健康促進のための対策について十分な調査審議を行う。

2、重点課題

- ① 感染症予防・対策のポスター作製など、各事業所への啓発運動の実地。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策や発生時の対策マニュアル作成及び周知。
- ③ 職員の生活習慣病対策を健保協会と連携して行う。
ストレスチェック回収率の向上。

3、総括

- ① 啓発ポスター配布に関しては、季節柄や利用者・支援員の体調管理等を考慮して、「熱中症予防」「インフルエンザ感染予防」「ストレス対策・リラックス法」と、視覚的に分かり易く、取り組みやすい内容となるように検討し、配布・掲示できたのは良かったと考える。
- ② 「新型コロナウイルス感染症予防対策のご協力のお願い」を作成。利用者家族及び各事業所に配布できた。
- ③ 安全衛生パトロールはコロナ禍もあり、各事業所にてセルフチェックにて実施した。本来は第三者の視点からのチェックが望ましかった。
- ④ 「ストレス対策」や「心身の健康」が課題と考える。WEBや用紙配布によるストレスチェックなど、皆で集まらなくても実施できる方法を検討しても良かったのではと考える。

広報委員会

1、目的

広報誌・WEBサイト等を最大限活用し、法人のPR効果の向上、賛助会員の拡大につなげる。

2、重点課題

- ① 法人や事業所の活動内容、取り組み内容が外部へ伝わりやすい広報誌作り。
- ② ホームページを利用して、旬の情報をリアルタイムに更新していく。
- ③ 各事業所毎のパンフレット作成。

3、総括

- ① 例年通り、定期的に広報誌を発行、配布した。新しい記事内容やデザインの刷新などには取り組みず、今後の課題としていきたい。
- ② ホームページに関しては、委員会内で情報の更新などは実施できなかった。今後は広報誌の発行時期を考慮した上で、更新のタイミングや体制などを決めて取り組んでいきたい。
- ③ 各事業所毎のパンフレットについては、取り組めておらず、次年度以降の課題としたい。

研修・人権擁護委員会

1、目的

- ① 研修 法人内外の研修を通じて職員を育成して仕事に対する意欲を引き出し、事業を効果的、効率的に進め、継続できる法人基盤を作っていくためのサポートを行う。
- ② 人権擁護 障がい者虐待の現状や障がい者の置かれている社会的環境を知り、障害者虐待防止法の理念や権利擁護の仕組みについて考え、障がいのある人がその人らしい生活を送るためにはどのようなことが必要であるか、職員個々の意識高揚を図る取り組みを行う。

2、重点課題

- ① 職員一人ひとりが、人権擁護への高い意識を保つよう、人権擁護に関する研修を繰り返し計画したい。
- ② 日々の現場へフィードバックできる、支援スキル、支援への心構え取得を目的とした研修を計画したい。
- ③ 法人職員としての自覚を持つことはもちろんのこと、一人の国民としての法令遵守、社会規範を身につける、最低基準の意識を確認する内容の研修を計画したい。
- ④ 座学の研修ばかりでなく、職員同士のコミュニケーションを図る内容の企画を考えていきたい。

3、総括

令和4年度は人権擁護の観点に重きを置いた研修を企画した。利用者ご家族のお話を伺う研修では、ご家庭での様子を垣間見ながら希望とご苦勞が入り混じった人間模様の複雑さを通して人権の尊さを学ぶことが出来た。また、利用者本人中心支援のあり方を学ぶ研修では、学術的な背景と心理的な背景の両面から、利用者を尊重するという当たり前の考えを改めて学んだ。3月には、国立ハンセン病資料館から学芸員の方をお招きして、ハンセン病問題の正しい理解と人権擁護を考える全体研修会を3年ぶりの対面式にて開催した。歴史を積み重ねる中でハンセン病患者が受けてきた差別と、その中であつても自らを奮い立たせる患者の勇氣に、学ぶ私たち支援者それぞれが自身の心底を見つめ直す機会となった。

本部総務部(平塚市西真土1-7-56)

1、目的

法人全体の運營業務が円滑に進むように環境整備する。

2、業務内容

- 労務業務 人事、給与他
- 管理業務 法人設備、修繕、契約書の管理、固定資産管理他
- 庶務業務 公的文書の作成・届出・法務関係手続き他
- 経理業務 会計処理、請求書の支払い業務、納税、補助金の申請他
- 管財業務 車両管理、リース管理、保険管理他
- 請求業務 未収金請求、障害福祉関係の請求他
- 本部業務 総会・理事会に係る業務、事務所申請他

3、職員体制

常勤職員4名(事業部長1名、総務部長1名、総務課長1名、一般職員1名)
非常勤職員3名

4、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
総務会議	毎月1回	日程などの情報確認、部内検討事項の審議

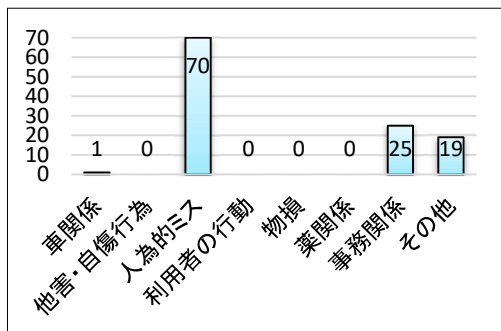
(2)外部研修

研修名	開催日	内容
Teams活動事例紹介編～本当の魅力を教えます	12月20日	Teamsの使い方について/KDDIまとめてオフィス株式会社
BCP策定について	2月9日	BCP策定について/神奈川県 福祉子どもみらい局福祉施設グループ
	2月27日	

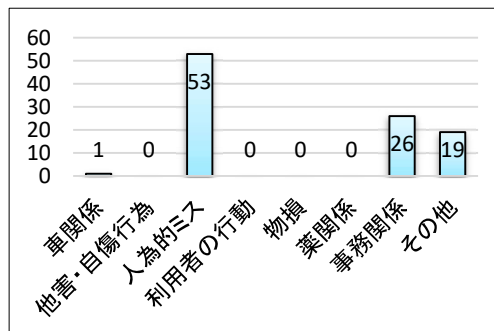
5、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 115 件



(3) 事故報告 99 件



6、重点課題と目標

①
△

(1) 事故報告とひやりはつと報告の実行

総務内において、事故報告とひやりはつと報告を適切に行い、事故を未然に防いでいく。

(2) 労務の情報管理業務の精度向上

人事管理ソフトの導入により、職員の労務情報をより具体的で細やかに管理することが可能となったことで、業務の正確性と処理スピードの向上を図る。

(3) 安定した運営の実現

①顧問社会保険労務士と連携し、労働条件の適正化や労務管理の改善など、事業の健全な発達を目指すとともに、雇用の安定、職場環境の改善、仕事と家庭の両立、職員の能力向上を図るため、雇用関係助成金を積極的に活用していく。

②専門的なコンサルタントの助言と指導を受けながら、改定後の賃金制度の適正な運用と人事評価制度の精度向上を目指す。

③顧問会計事務所の助言や指導・経営アドバイス等を受けながら、公正な事業活動の更なる展開を目指す。

④事業所単位の自立的運営を目指して必要な人材の確保に努めるとともに、中堅職員の育成を強化する。

⑤給与ソフトと連動する勤怠管理クラウドシステムの導入により、多様化する職員の勤務形態に応じた労務管理を行い、労務事務時間の短縮等の効率化を目指す。

(4) 請求事務

各事業所の請求事務担当者と連携し、月ごとの未収金管理が適切に行えるよう、引き続き管理を行う。また、収入においては経理との連携はもちろんのこと、入金管理を徹底し、事業所の担当者へ繋いでいく。

(5) リスク管理

問題が起きた時には、顧問社会保険労務士、弁護士との連携を図り、対処していく。

(6) 経費削減対策

消耗品等の削減はもとより、事務作業の効率化を法人全体で更に進めることによりコスト削減を図る。

(7) その他

各種規程・業務マニュアル等の整備、制定を進めて法人として組織統一を目指す。

7、総括

コロナウイルス感染症に関連して発生していた助成金の申請事務を、社労士に依頼せずに自力で複数件申請し、無事に助成金が交付された。

上期に、昨年の秋に導入した労務の勤怠管理システムの試運転をして、問題点の洗い出しと再設定作業を重点的にを行い、下期から本稼働させることが出来た。運用していく中で出てきた問題点はその都度解決し、各事業所において事務作業に支障がなくスムーズに運用できるよう取り組んだ。紙のタイムカードを使用していた頃と比較すると、事務作業が軽減され事務時間を大幅に短縮することが出来た。法人全体として、クラウドサービスのシステム自体に不慣れな部分もあるにはあるが、勤怠管理システム導入による事務効率化の成果は大きい。今後の年度更新作業など導入後初めての作業も滞りなく処理できるよう進めていきたい。

会計事務所にアウトソーシングしていた一部の経理事務はまだ引き取れていないので、引き続き担当者のさらなる育成を図りたい。

茅ヶ崎支部

1、 内部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
茅ヶ崎支部常勤会議	5月16日 7月5日 9月14日 11月10日 1月12日 3月7日	情報共有、課題検討

2、 外部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
全国放課後連総会	6月5日	令和3年度事業報告等の決議
放課後ネットかながわ事務局総会	6月19日	
全国放課後連打ち合わせ	10月4日	情報共有、課題検討
放課後ネットかながわ事務局総会	10月5日	
放課後ネットかながわ研修	11月6日	情報共有座談会
全国放課後連研修	12月4日	障がい児の人格を育てる放課後実践
放課後ネットかながわ事務局会議	3月6日	意見交換、情報共有等

平塚支部

1、 内部会議・研修

なし

2、 外部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
湘南西地区施設長会	7月1日	神奈川県、中井やまゆり園の取り組み説明、情報交換等
	2月1日	県からの連絡事項、情報交換等
	3月1日	令和4年度反省会、情報交換等

あいあいクラブ(茅ヶ崎市萩園1602 2階)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう、必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…18才未満で市町村より支給決定を受けた方(主に小学生)

(3)開所日…月～土

(4)定休日…(日曜日・祝日・夏季休業日・年末年始休業日)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00 土曜日・長期学校休業日/9:30～16:30

(6)定員…10名

4、事業収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
開所日数	25	23	25	25	24	24	146
件数	234	235	262	234	251	239	1,455
平均件数(1日あたり)	9.4	10.2	10.5	9.4	10.5	10.0	10.0
障害福祉サービス収入(単位:千円)	2,551	2,541	2,816	2,622	3,012	2,578	16,120
平均単価(単位:円)	10,902	10,813	10,748	11,205	12,000	10,787	11,076
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	24	23	22	25	289
件数	248	226	237	234	214	245	2,859
平均件数(1日あたり)	9.9	9.4	9.9	10.2	9.7	9.8	9.9
障害福祉サービス収入(単位:千円)	2,745	2,525	2,677	2,644	2,380	2,805	31,896
平均単価(単位:円)	11,069	11,173	11,295	11,299	11,121	11,449	11,155

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者26名(男性20名、女性6名)

(2)年齢構成

年齢 学年	7歳 小1	8歳 小2	9歳 小3	10歳 小4	11歳 小5	12歳 小6	計
男性	2	2	2	0	1	2	9
女性	0	0	1	1	0	0	2
計	2	2	3	1	1	2	11

年齢 学年	13歳 中1	14歳 中2	15歳 中3	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	計
男性	2	4	2	0	1	2	11
女性	0	1	0	1	2	0	4
計	2	5	2	1	3	2	15

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	15	9	2	0	26		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	1	3	0	0	1	0	5

6、職員体制

常勤職員3名

(管理者(他兼務)、児童発達支援管理責任者、障がい福祉サービス経験者)

嘱託職員1名

(児童指導員(他兼務含))

非常勤職員8名

(保育士1名、児童指導員3名(他兼務含)、

障がい福祉サービス経験者1名(他兼務含)、ドライバー3名(他兼務含))

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
定例会議	4月15日 5月13日 6月10日 7月8日 9月9日 10月14日 11月18日 12月16日 1月13日 2月10日 3月3日	日々の業務、利用者対応、支援の情報共有、検討など

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	4月26日	令和4年度の役員選出/市役所から「日中一時支援についての連絡」など
利用者のケースカンファレンス	6月6日	利用者についての情報共有
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	6月21日	グループワーク・課題や今年度の取り組みについて
	9月20日	情報共有と課題検討について

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市寒川町障害児者通所事業所連絡会	11月22日	今年度の研修希望アンケートの集計結果情報共有など
ケースカンファレンス	11月30日	長期入所施設利用者についての情報共有(入所中の様子・帰省時の様子)
自立支援協議会	1月24日	日中支援型GHの報告・部会報告・障がい者虐待通報、相談受付状況・基幹相談支援センター設置検討プロジェクトの報告
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	2月22日	次年度の役員選出、情報共有
支援移行会議	3月27日	学校、放課後、保護者、成人事業所が集まり、本人の様子や日常生活動作などの引継ぎ

(3) 面談

面談名	開催日	内容
利用者面談	4月 12,18,19,26,27,28日	家庭、学校、放課後における利用者の様子について
	5月16,27日	
	6月 16,17,20,23,27日	
	7月4,7日	
	8月17日	
	9月 6,8,12,16,21,22,26,27,29,30日	
	10月17,18,21,24日	
	11月 17,19,24日	
	12月 5,9,14,17,19日	
	1月 19,24,25日	
	2月 8,14,16,20日	
	3月 1,2,10,13,14日	

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
発達障がい基礎研修	6月1日	発達障がいの説明とグループワークによるケーススタディ
強度行動障がいの「予防的支援研修」	7月27日	行動の悪い部分よりも、行動に至る原因や本人の意思を汲み取る支援の大切さについて

研修名	開催日	内容
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修	8月23日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修
発達障がい基礎研修	10月26日	精神科のドクターによる発達障がいへの理解を深める
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修	1月12日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修
早期療育普及研修	1月13日	早期療育における障がい理解の援助・子どもの育ちを支える家族支援について
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者補足研修	1月20日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者補足研修
三浦しらとり園公開講座	1月27日	自閉傾向にある児童への適切な支援と教育・福祉の連携
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修	2月9日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修
神奈川県立子ども自立生活支援センター公開研修	2月9日	大人になった発達障がいの人の生活(支援)から児童期の関わりを考える
障害児通所支援事業所に対する送迎用車両等における安全管理研修	3月23日	研修実施の社会的背景と問題 こどものバス送迎と安全 障がい児のために通所バスで配慮する事項

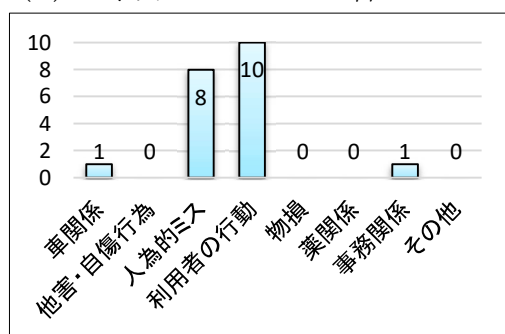
8、 行事

行事名	開催日	内容
ユースボランティア茅ヶ崎	7月8,9日	茅ヶ崎市社会福祉協議会主催のボランティア受け入れの日程の打ち合わせ
茅ヶ崎支部家族懇談会	9月15日	事業所毎のご家族・事業者による懇談会
避難訓練	10月11日	地震を想定した避難訓練
ハロウィンイベント	10月28,29,31日	仮装を楽しみ、お菓子のプレゼントを持ち帰る。
避難訓練	11月14日	火災を想定した避難訓練と、消防署への通報訓練
クリスマス会	12月23,24,26日	クリスマスの衣装や音楽などを通して、季節感のある過ごしやケーキを楽しむ

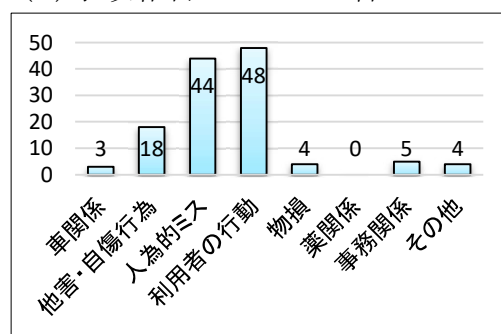
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 20 件



(3) 事故報告 126 件



10、重点課題

- ① 新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら、安定した放課後支援体制を維持すること。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことで体験した「家庭毎のリスク」について、保護者とともに各家庭に合わせた準備等の検討を行い、対策を考えること。
- ③ 本人支援や保護者面談での情報共有ならびに情報提供により、ご利用者のご家族の生活が、より楽しいものになり社会との交流が増えるよう働きかけを行うこと。

11、目標

- ① 「利用者は楽しく通い」「保護者は安心・安全に通わせる」ことが出来る事業所として、ご家族との信頼関係や繋がりを深めていく。
- ② 利用者毎の個別支援計画に基づいた支援を基本としながらも、適時、ご本人の状況に寄り添った臨機応変で柔軟な対応が出来るように支援力をつけていく。
- ③ 地域における当事業所の役割を再考し、事業所が地域に必要とされる場所であり続けるよう支援の見直しを図る。

12、総括

常勤職員の入れ替わりがあり、新しい体制での事業所の稼働が安定するまでに時間が掛かった。また、コロナ感染症の影響で、事務の分散や支援体制の維持に職員の負担感が大きかったが、職員の協力で下期後半では改善する傾向となった。

新体制に伴い職員が様々な業務に関わる機会を増やす取り組みを行った。特に新しい職員については、保護者面談への参加機会を多くとり、面談を通してお互いの認識を深めるきっかけとした。

新体制による負担や職員連携の難しさもあったため事故が増えてしまった1年になったが、どの職員も次年度に繋がる経験になったと考えている。

からんころん(茅ヶ崎市萩園2336-2)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…10名

4、事業収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
開所日数	21	20	22	21	21	22	127
件数	239	223	249	229	234	247	1,421
平均件数(1日あたり)	11.4	11.2	11.3	10.9	11.1	11.2	11.2
障害福祉サービス収入(単位:千円)	3,734	3,491	3,901	3,585	3,641	3,877	22,229
平均単価(単位:円)	15,623	15,655	15,667	15,655	15,560	15,696	15,643
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	205	190	219	196	204	209	1,223
就労支援事業収入(単位:千円)	0	0	0	0	0	0	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	21	22	20	20	20	23	253
件数	238	253	227	228	222	259	2,848
平均件数(1日あたり)	11.3	11.5	11.4	11.4	11.1	11.3	11.3
障害福祉サービス収入(単位:千円)	3,775	4,008	3,606	3,617	3,520	4,121	44,876
平均単価(単位:円)	15,861	15,842	15,885	15,864	15,856	15,911	15,756
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	204	221	184	196	201	226	2,455
就労支援事業収入(単位:千円)	0	8	14	0	0	0	22

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者15名(男性10名、女性5名)

(2) 年齢構成

18～48歳、平均年齢25.9歳(男性27.5歳、女性22.8歳)

(3) 手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	15	0	0	0	15		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	1	3	0	0	1	1	6

(4) 男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	1	6	3	10
女性	0	0	0	0	2	3	5
計	0	0	0	1	8	6	15

6、職員体制

常勤職員5名

(管理者1名、生活支援員4名(兼務含))

嘱託職員1名

(サービス管理責任者(他兼務))

非常勤職員13名

(看護師1名、生活支援員11名(他兼務含)、ドライバー4名)

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月18日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	5月16日	
	6月20日	
	7月11日	
	8月22日	
	9月12日	
	10月17日	
	11月21日	
	1月16日	
	2月20日	
	3月13日	

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市障害者施設連絡会 総会	5月18日	総会、情報共有
ケース会議	11月17日	利用者の情報共有
利用者担当者会議	2月2日	
	3月10日	新規利用者の情報共有

(3)面談

面談名	開催日	内容
個人面談	5月24日	ケース会議後の聞き取り及び自宅訪問
新規利用者個別面談	6月6,10日	ご家族と情報共有
利用者個別面談	10月 3,4,5,6,7,1 3,19,25日 3月1～17 日	個別支援計画見直し・情報共有

(4)研修・説明会

研修名	開催日	内容
行動援護研修	6月 9,16,23,30 日	行動援護について
行動援護従事者研修フ ォローアップ研修	10月13日	行動援護従事者研修フ ォローアップ
知的障がいのある方々の生 活支援について	11月15日	支援の基礎を学ぶ、対応方法などの情報交換
発達障がい専門相談スキル アップ中級	11月30日	発達障がいを知ろう
発達障害専門相談中級研 修	1月11日	発達障がいの特性を学ぶ

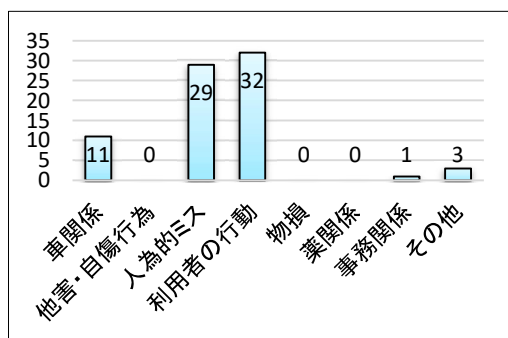
8、行事

行事名	開催日	内容
歓迎会	4月26日	新規利用者歓迎会
誕生日会	5月4日	利用者の誕生日会・記念撮影等
七夕まつり見学/誕生日会	7月8日	七夕まつりを楽しむ/誕生日会
茅ヶ崎養護学校令和4年度 事業所説明会inちがさき・さ むかわ	7月21日	茅ヶ崎、寒川にある事業所の説明会
夏祭り	8月23日	夏祭りを楽しむ
避難訓練	9月13日	地震を想定した避難訓練
茅ヶ崎支部家族懇談会	9月15日	事業所毎のご家族・事業者による懇談会
里山公園でのおやつ会	9月22日	里山公園でおやつを食べる Bグループは、天候が悪いため、中止
宮ヶ瀬ダムへ外出	10月11,18 日	秋の一日を屋外で楽しむ
ハロウィン	10月31日	散歩しながらお菓子を受け取る
誕生日会	11月7,24日	利用者の誕生日を祝う
避難訓練	11月28日	火災を想定した避難訓練と、消防署への通報訓 練
クリスマスパーティー	12月20日	クリスマスを楽しむ
誕生日会	1月27日	利用者の誕生日を祝う
	2月28日	
	3月31日	

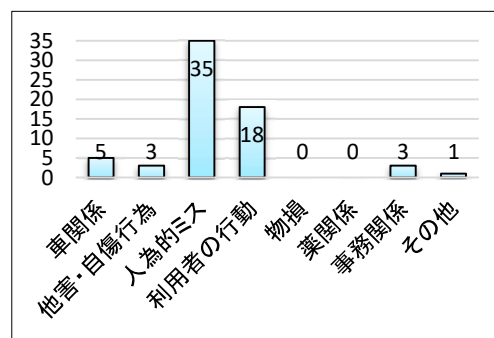
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 76 件



(3) 事故報告 65 件



10、重点課題

- ① 職員同士のスキルアップを図るため、各関係機関と情報共有を行い支援方法を充実させる。
- ② 活動内容・年間予定・個別支援の内容を充実させる。
- ③ 新規利用者受け入れを積極的に行う。

11、目標

- ① 利用者・職員が健やかに過ごせるよう環境整備を徹底し、健康維持に努める。
- ② 関係機関と連携し、ご本人の様子に適した支援を行い、利用者が毎日通所を楽しめるよう、障がい特性に配慮した支援を構築する。
- ③ 職員体制を安定させ、新規利用者受け入れを積極的に行う。

12、総括

コロナ禍の中、2名の新規利用者を迎えて新年度が始まった。

思うような活動ができない中、感染予防を行いながら、運動を目的に公園等に散策に行くなど、工夫して外出の機会を増やした。又、創作活動にも力を入れ、利用者の作品を作品展に応募した。

利用者の年齢が年々上がるにつれ、短期入所の利用などで家族以外の人と過ごす機会が増えてきた。近隣のサービスが利用できる場合は、送迎等に協力して継続利用に繋げた。

強度行動障がいの利用者の支援では、関係各機関に繋げて相談、協力して視野を広げ、支援の幅を狭めないよう心がけた。また、関連する研修にも積極的に参加した。

兼務している職員もいるので常にほう・れん・そうを心がけた。職員・利用者の体調管理を行ない、楽しく安全に過ごせるよう心掛けた。

とむ郎(茅ヶ崎市香川4-21-12)

1、実施事業

共同生活援助

2、目的

障害者総合支援法に規定される共同生活援助事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、食事及び排泄等の介助、風呂介助、余暇支援、相談、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)定員…6名

4、事業収入

※家賃補助は含んでいません

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
開所日数	30	31	30	31	27	30	179
件数	145	155	163	160	125	158	906
平均件数(1日あたり)	4.8	5.0	5.4	5.2	4.6	5.3	5.1
障害福祉サービス収入(単位:千円)	1,753	1,882	1,928	1,888	1,549	1,898	10,898
平均単価(単位:円)	12,090	12,142	11,828	11,800	12,392	12,013	12,044
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	31	30	30	29	28	31	358
件数	164	159	154	144	150	169	1,846
平均件数(1日あたり)	5.3	5.3	5.1	5.0	5.4	5.5	5.2
障害福祉サービス収入(単位:千円)	2,002	1,944	1,862	1,778	1,828	2,059	22,371
平均単価(単位:円)	12,207	12,226	12,091	12,347	12,187	12,183	12,126

5、利用者構成

(1)利用者数

定員6名、契約者6名(男性6名、女性0名)

(2)年齢構成

27歳～48歳、平均年齢34.7歳(男性34.7歳、女性-歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	4	2	0	0	6		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	0	1	0	0	1	0	2

(4) 男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	1	2	3	6
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	2	3	6

6、職員体制

常勤職員4名

(管理者1名、サービス管理責任者(他兼務)、生活支援員2名(他兼務含))

非常勤職員13名

(生活支援員6名(他兼務含)、世話人7名(他兼務含))

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月26日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	5月26日	
	6月27日	
	7月27日	
	8月26日	
	9月27日	
	10月27日	
	11月28日	
	12月27日	
	1月27日	
	2月27日	
	3月29日	
常勤会議	4月26日	支援内容及び連絡事項などの情報共有
	5月26日	
	6月27日	
	7月27日	
	8月26日	
	9月27日	
	10月27日	
	11月28日	
	12月27日	
	1月26日	
	2月27日	
	3月29日	

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎・寒川ホーム連絡会	7月12日	情報共有

(3) 面談

面談名	開催日	内容
モニタリング	7月8,12日	利用者の様子等の聞き取り

面談名	開催日	内容
モニタリング	8月30日	利用者の情報交換
利用者面談	9月13日	
個別支援面談	10月 14,18,21日	利用者の様子を共有
利用者面談	11月21日	
	1月13,19日	
	1月23日	
モニタリング	2月6日	
	3月9,20日	

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
知的障がいのある方々の生活支援について	11月15日	支援の基礎を学ぶ、対応方法などの情報交換
強度行動障がい支援者養成基礎研修	11月8,9日	強度行動障がいの理解と障がいについて学ぶ
甲種防火管理新規講習	12月20,21日	防火管理についての講習会
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者補足研修	1月20～31日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者補足研修
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実践研修	1月23,24日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実践研修
強度行動障がい支援者養成実践研修	2月2,3日	強度行動障がいの理解と障がいについて学ぶ

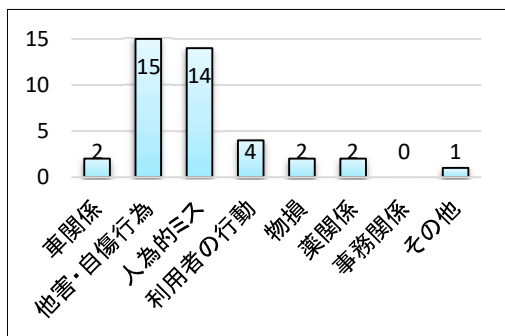
8、行事

行事名	開催日	内容
家族懇談会	7月27日	今後のとむ郎について
誕生日会	5月24日 7月5日 8月23日 10月18日 11月10,29日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
避難訓練	10月20日	地震を想定した避難訓練
	11月11日	火災を想定した避難訓練と、消防署への通報訓練
クリスマス会	12月10日	クリスマスを楽しむ
大掃除	12月22日	年末の掃除

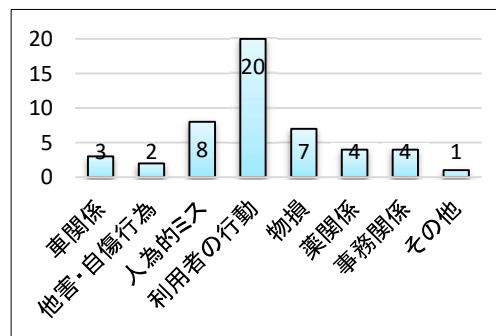
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 40 件



(3) 事故報告 49 件



10、重点課題

- ① 支援職員が利用者の方たちの特性や性格などに配慮して適切な支援を行えるよう、職員のスキルの向上および支援体制の確保。
- ② 感染症対策をはじめ、衛生面、環境面に配慮した対策を行って安全なホームでの活動の実施。
- ③ 近隣の住民や地域の自治会との良好な関係の中でのグループホームの運営。

11、目標

- ① 利用者の方が安全かつできるだけ安定した状態で生活できるように、感染症対策や利用者の方々の特徴に配慮した支援を実施していく。
- ② 利用者家族、関係事業所との情報共有や連携を行っていくことで、円滑な支援の実施、事故の防止などに努めていく。
- ③ 滞りなく支援を継続できるように、支援体制の確保に努める。

12、総括

常勤職員が、年度途中で2名退職、1名入職したため、常勤職員の役割分担を大幅に変更することになった。

ベテランの職員が退職したことで失敗が増えたり、大変さもあったが、役割分担、情報共有の大切さなど今まで見えていなかった部分に多々気づけるようになり、とむ郎の職員体制は「全体で利用者を支えている」と感じている。

利用者への課題は多くあるが、身近な課題をピックアップし、少しずつ職員やそのご家族と共に解決できるように支援会議や日々の記録を通してこれからも続けていく。

コロナ禍も落ち着き職員の研修や面談など外部への参加が出来るようになった。今後も研修等を含め支援に関する知識や情報を習得し、支援に活用していきたい。

モンキーポッド(茅ヶ崎市萩園1602 1階)

1、実施事業

茅ヶ崎市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土(土曜日は月に2回開所)

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:30 土曜日/9:30～16:30

(6)定員…16名

4、事業収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
開所日数	22	20	24	22	23	22	133
件数	163	150	195	161	163	168	1,000
平均件数(1日あたり)	7.4	7.5	8.1	7.3	7.1	7.6	7.5
障害福祉サービス収入(単位:千円)	1,454	1,244	1,729	1,420	1,456	1,493	8,796
平均単価(単位:円)	8,920	8,293	8,867	8,820	8,933	8,887	8,787
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	22	22	22	21	21	24	265
件数	162	156	138	133	132	153	1,874
平均件数(1日あたり)	7.4	7.1	6.3	6.3	6.3	6.4	7.1
障害福祉サービス収入(単位:千円)	1,497	1,415	1,287	1,272	1,258	1,475	17,000
平均単価(単位:円)	9,241	9,071	9,326	9,564	9,530	9,641	9,091

5、利用者構成

(1)利用者数

定員16名、契約者23名(男性12名、女性11名)

(2)年齢構成

20歳～32歳、平均年齢26歳(男性25.5歳、女性26.6歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	18	4	0	1	23			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	6	1	1	0	0	1	9	

6、職員体制

常勤職員7名

(管理者1名(他兼務)、支援員6名(他兼務))

非常勤職員6名

(支援員5名(他兼務含)、ドライバー1名)

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月13日 5月11日 6月8日 7月13日 9月7日 10月11日 11月8日 12月6日 1月17日 2月7日 3月14日	利用者支援・対応の振り返り、情報共有、検討、業務の伝達等

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
日中一時支援事業所連絡会	4月26日	日中一時支援事業所の情報共有
茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会	6月21日	事業所間の情報共有、課題検討
茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会	11月22日	今年度の研修希望アンケートの集計結果、情報共有など
ケース会議	1月26日	各事業での支援内容・利用者の様子についての情報共有と、今後の対応について検討
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	2月22日	次年度の役員選出・情報共有など

(3)面談

なし

(4)研修・説明会

なし

8、行事

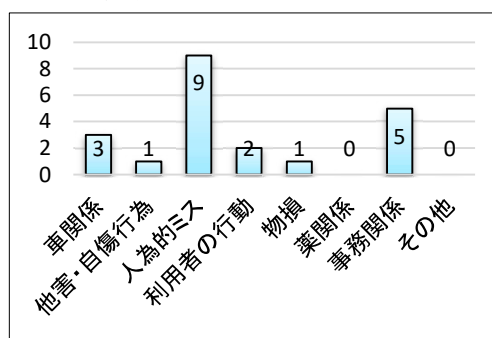
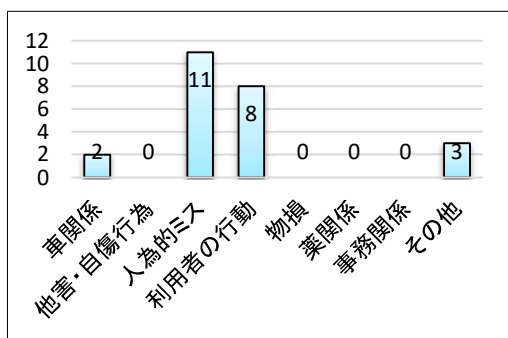
行事名	開催日	内容
茅ヶ崎支部家族懇談会	9月15日	事業所毎のご家族・事業者による懇談会
避難訓練	10月6日	地震を想定した避難訓練
	11月28日	火災を想定した避難訓練と、消防署への通報訓練
節分	2月3日	創作した鬼のオブジェに、ボールを投げて鬼退治

9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 24 件

(3) 事故報告 21 件



10、重点課題

- ① 在校生利用者は減少する一方で成人利用者は現状維持または利用回数の増加や新規も見込まれる。開所日の職員配置等を鑑みながら需要に応じていく必要がある。
- ② モンキーポッド専属の支援員は常勤(嘱託)・非常勤職員共に少なく、利用人数に合わせて他事業所から補充をしているが、安定した支援の為には専属の職員を増やす事が課題である。
- ③ 職員のスキル、支援力の維持向上を目指すべく、情報共有の充実を図ることが優先課題である。

11、目標

- ① 一日平均、7.9名の利用受け入れを目指す。
- ② 地域における利用ニーズの現状把握に努め、引き続き、事業所連絡会や他事業所との連携を強化し、日中一時支援事業の報酬面等での改善を行政にも働きかける。
- ③ より支援が必要な利用者へのサービスを適切に且つ充実した形で提供できるよう、職員配置の安定と支援力の向上を図る。

12、総括

職員の入退職があつて十分な体制がとれないため、積極的な新規利用受け入れは出来ていない。

専属の職員確保は課題だが、兼務職員の配置で支援する職員は足りている。問題は、日中活動先の事業所に迎えに行く職員と、その時間帯に事業所にいる利用者の見守りをする職員が必要となるため、特定の時間帯に職員が足りないことである。そのため、既存の送迎ルート先事業所からの受け入れ以外の新規受け入れは難しい状況である。

ぶんぶん(平塚市南原2-4-5マインズビル1階)

1、実施事業

平塚市移動支援・パーソナルサービス(自費契約)

2、目的

個別の支援を通して、障がいのあるご本人および家族が、地域社会において、より良い生活が送れることを目的とする。

3、事業内容

直接支援～身体介護(食事、排泄、移乗、入浴等)、家事援助、移動支援、等

4、事業収入

(1)移動支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
時間数	126.0	126.5	112.0	119.0	102.0	119.5	705
障害福祉サービス収入(単位:千円)	316	308	270	291	250	282	1,717
平均単価(単位:円)	2,508	2,435	2,411	2,445	2,451	2,360	2,435
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
時間数	115.5	104.0	114.0	120.0	89.0	96.5	1,344
障害福祉サービス収入(単位:千円)	292	250	272	275	215	235	3,256
平均単価(単位:円)	2,528	2,404	2,386	2,292	2,416	2,435	2,423

5、利用者構成

定員:なし/契約者:40名(男性 29名、女性 11名)

6、職員体制

常勤職員1名(他兼務)
派遣職員1名(他兼務)
非常勤職員7名(他兼務含)

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月18日	情報共有 支援内容の検討 意見交換
	5月16日	
	6月13日	
	7月18日	
	8月22日	
	9月19日	
	10月17日	
	11月21日	
	12月19日	
	1月16日	
	2月20日	
	3月20日	

(2)外部会議

なし

(3)面談

なし

(4)研修・説明会

なし

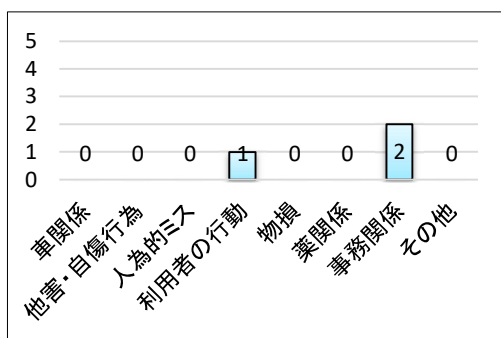
8、行事

なし

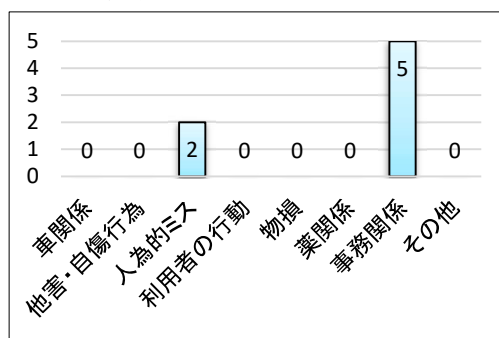
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 3 件



(3) 事故報告 7 件



10、重点課題

- ① 職員の注意力不足・体力低下が目立ってきている。
- ② 職員の退職に伴う支援担当者の確保。
- ③ 事務のダブルチェック体制を作る。

11、目標

- ① 職員間で情報共有や意見交換をし合えるような雰囲気作りを大切にし、事故を防いでいく。
- ② 人員の確保。
- ③ 新しい担当者も周りの部署の職員も当事業所の業務を理解し、フォローを得られる体制を作る。

12、総括

職員の退職及び、長期療養休暇も有ったが、職員間でお互いにフォローする事で利用者事故は防ぐことが出来た。

但し、支援希望日のチェック漏れや事務請求に伴う事故が発生した事は反省点。次年度は事務の効率化に合わせて、正確なデータ入力を図りチェック時間の確保で更なる事故率の低下に努める。

えぼハウ(平塚市御殿1-33-21)

1、実施事業

平塚市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…平塚市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:00 土曜日/9:00～17:00

4、事業収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
開所日数	26	24	27	26	22	25	150
件数	126	103	116	124	84	129	682
平均件数(1日あたり)	4.8	4.3	4.3	4.8	3.8	5.2	4.5
障害福祉サービス収入(単位:千円)	882	715	787	874	570	912	4,740
平均単価(単位:円)	7,000	6,942	6,784	7,048	6,786	7,070	6,938
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	27	25	23	25	23	27	300
件数	122	119	103	130	117	142	1,415
平均件数(1日あたり)	4.5	4.8	4.5	5.2	5.1	5.3	4.7
障害福祉サービス収入(単位:千円)	860	857	740	914	831	1,012	9,954
平均単価(単位:円)	7,049	7,202	7,184	7,031	7,103	7,127	7,027

5、利用者構成

(1)利用者数

定員なし/契約者23名(男性15名、女性8名)

(2)年齢構成

14～34歳、平均年齢25.6歳(男性25.4歳、女性26歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	12	10	0	0	22		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	1	3	2	1	1	0	8

6、職員体制

常勤職員1名(他兼務)
 派遣職員1名(他兼務)
 非常勤職員7名(他兼務含)

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月18日	情報共有 支援内容の検討 意見交換
	5月16日	
	6月13日	
	7月18日	
	8月22日	
	9月19日	
	10月17日	
	11月21日	
	12月19日	
	1月16日	
	2月20日	
	3月20日	

(2)外部会議

なし

(3)面談

なし

(4)研修・説明会

なし

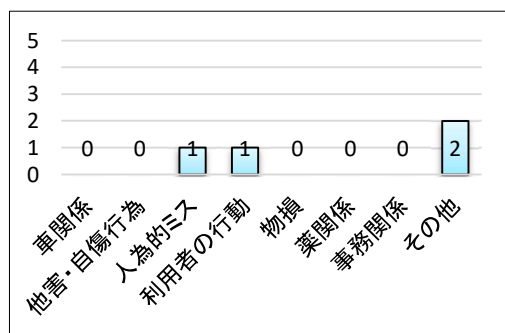
8、行事

行事名	開催日	内容
避難訓練	9月27日	地震を想定した避難訓練
	11月24日	火災を想定した避難訓練と、消防署への通報訓練

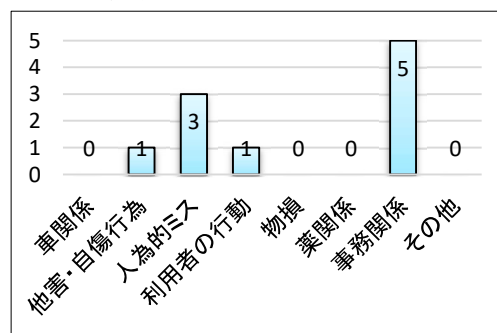
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1)苦情 0 件

(2)ひやりはっと 4 件



(3)事故報告 10 件



10、重点課題

- ① 職員の退職に伴う支援担当者の確保。
- ② 職員間に実力の差が出ており、一部の職員にフォローの負担が掛かっている。
- ③ 常勤職員の退職に伴う、利用者に関する情報提供の減少。

11、目標

- ① 人員の確保。
- ② 日頃から職員間で声を掛け合えるような雰囲気作りを大切にし、担当配置も工夫することで、事故を防ぎ、負担偏重も減らす。
- ③ 事業所の垣根を越えて情報共有し、職員の不安を解消し、事故を防いでいく。

12、総括

事業所間の情報共有化に努めた事で職員間でも支援に対する協力意識が芽生えた。結果、大きな事故を防ぐ事が出来た。今後も各職員が意見を提示しあいながら良い支援に努めたい。

ゆうゆうクラブ(平塚市御殿1-7-6)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう、必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、おやつ作り、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才未満で市町村より支給決定を受けた方(主に中・高生)

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00 土曜日・長期学校休業日/9:30～18:00

(6)定員…10名

4、事業収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
開所日数	22	23	25	25	22	24	141
件数	195	226	253	238	216	239	1,367
平均件数(1日あたり)	8.9	9.8	10.1	9.5	9.8	10.0	9.7
障害福祉サービス収入(単位:千円)	2,051	2,342	2,603	2,559	2,507	2,463	14,525
平均単価(単位:円)	10,518	10,363	10,289	10,752	11,606	10,305	10,639
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	111	126	139	130	113	125	744
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	20	20	19	19	22	266
件数	248	225	214	205	192	264	2,715
平均件数(1日あたり)	9.9	11.3	10.7	10.8	10.1	12.0	10.2
障害福祉サービス収入(単位:千円)	2,592	2,359	2,307	2,204	2,030	2,850	28,867
平均単価(単位:円)	10,452	10,484	10,780	10,751	10,573	10,795	10,639
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	124	106	105	97	101	130	1,407

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者35名(男性24名、女性11名)

(2)年齢構成

年齢 学年	7歳 小1	8歳 小2	9歳 小3	10歳 小4	11歳 小5	12歳 小6	計
男性	0	0	0	0	0	0	0
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0

年齢 学年	13歳 中1	14歳 中2	15歳 中3	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	計
男性	6	4	2	4	6	2	24
女性	0	4	1	2	3	1	11
計	6	8	3	6	9	3	35

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	11	18	6	0	35		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	2	3	1	0	1	0	7

6、職員体制

常勤職員4名

(管理者1名、サービス管理責任者1名、障がい福祉サービス経験者2名(他兼務含)、
非常勤職員6名

(児童指導員6名(他兼務含)、指導員6名(他兼務含))

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	5月17日 6月14日 7月12日 9月13日 10月11日 11月8日 12月13日 2月14日 3月7日	ケース検討、情報の共有、連絡事項

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
平塚養護学校事業所連絡会	5月30日	放課後支援事業所と学校の情報交換
	1月27日	平塚養護学校主催の放課後支援事業所向けの連絡会

(3)面談

面談名	開催日	内容
利用者面談	5月12～31日	個別支援計画の作成、日々の様子聞き取り

面談名	開催日	内容
利用者面談	6月1～28日	個別支援計画の作成、日々の様子聞き取り
	10月5～27日	
	11月1～30日	
	12月7日	
新規利用者面談	2月6,20,21日	新規利用者と面談

(4) 研修・説明会

なし

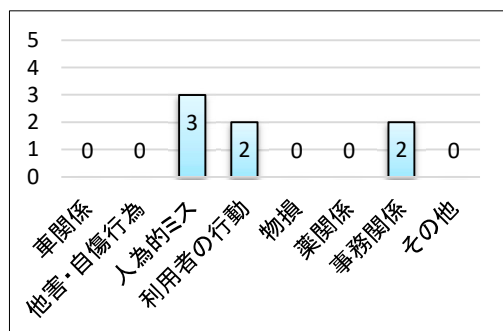
8、行事

行事名	開催日	内容
新入生歓迎会	4月6日	新規利用者の自己紹介とお祝い
誕生日会	5月14,20,25,30日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
	6月24日	
	7月22,23日	
	8月29日	
	10月26日	
避難訓練	9月29日	地震を想定した避難訓練
おたのしみ会	9月20,21日	ヨーヨー釣りやボウリングなどを行う
ハロウィンパーティー	10月28,31日	仮装をして写真を撮り、お菓子を配る
避難訓練	11月15日	火災を想定した避難訓練と、消防署への通報訓練
誕生日会	11月24,28日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
クリスマス会	12月23,26日	ケーキやプレゼントでクリスマスを楽しむ
誕生日会	12月14,27日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
	2月21,24日	
卒業生を送る会	3月31日	卒業する利用者のお祝い

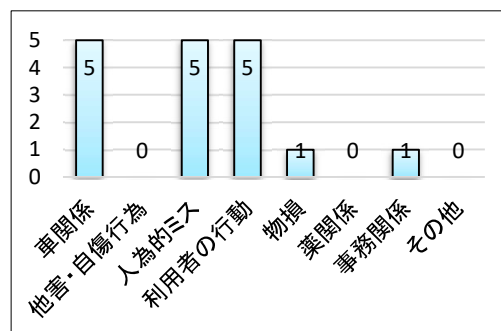
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 7 件



(3) 事故報告 17 件



10、重点課題

- ① 人材の育成は研修などを活用し引き続き取り組んでいきたい。長期休暇を含む送迎体制の強化が必要になっている。
- ② 事業所内の消毒や換気、利用者と職員の体調管理を行い、感染予防対策を徹底する。必要に応じてPCR検査キットなどを活用し、感染拡大を未然に防ぐ体制を整える。
- ③ 施設内の備品の老朽化に備え、適時修繕修理を行う。また、利用者が安心して活動できるような環境を整える。

11、目標

- ① 職員のスキルアップを図る研修や取り組みなどに参加し、支援へと還元していく。活動内容についても一層の充実を図り、新たな利用者の獲得にもつなげていく。
- ② 職員、利用者ともに感染症予防に対する意識を共有し、安全に事業所運営が行えるようにしていく。
- ③ 支援検討会議や日々のミーティングを活用し、利用者情報の共有と職員の支援力の向上に努める。

12、総括

- ① 限られた回数であったが、感染予防対策を講じながら研修の機会を確保できた。新規利用者に関しては目標数獲得できたが、支援体制や活動内容の充実が今後の課題となっている。
- ② 感染症による影響で事業所の閉所、又は他部署の職員のフォローが必要となる事があった。事業所内での感染の拡大は、日頃の感染予防対策により未然に防ぐことが出来た。
- ③ 支援検討会議、ミーティングは、概ね例年通り開催が出来た。職員間での情報共有や、職員のスキルアップの場として活用した。

えぼっくハウス(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

4、事業収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
開所日数	21	20	22	21	21	22	127
件数	449	437	475	458	421	472	2,712
平均件数(1日あたり)	21.4	21.9	21.6	21.8	20.0	21.5	21.4
障害福祉サービス収入(単位:千円)	7,063	6,809	7,420	7,072	6,471	7,304	42,139
平均単価(単位:円)	15,731	15,581	15,621	15,441	15,371	15,475	15,536
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	390	379	390	380	350	394	2,283
就労支援事業収入(単位:千円)	28	26	26	26	25	24	155
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	21	22	20	20	20	23	253
件数	456	470	426	438	430	488	5,420
平均件数(1日あたり)	21.7	21.4	21.3	21.9	21.5	21.2	21.4
障害福祉サービス収入(単位:千円)	7,126	7,320	6,566	6,854	6,794	7,701	84,500
平均単価(単位:円)	15,627	15,574	15,413	15,648	15,800	15,781	15,589
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	379	393	348	362	358	412	4,535
就労支援事業収入(単位:千円)	27	19	27	16	27	32	303

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者31名(男性19名、女性12名)

(2)年齢構成

20歳～38歳、平均年齢28.3歳(男性29.6歳、女性28.8歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	25	6	0	0	31		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	3	4	1	4	0	0	12

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	5	5	9	19
女性	0	0	0	3	4	5	12
計	0	0	0	8	9	14	31

6、職員体制

常勤職員6名

(管理者・サービス管理責任者1名、生活支援員4名(他兼務含))

非常勤職員13名

(看護師2名(他兼務含)、生活支援員13名(他兼務含)、ドライバー1名(他兼務))

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月27日	支援検討、情報交換
	6月22日	
	7月27日	
	9月28日	
	10月26日	
	11月30日	
	12月21日	
	1月25日	
	2月15日	
	3月22日	

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
生活介護等事業所情報交換会	6月17日	各事業所より近況報告
利用者モニタリング見学	9月11日	利用者見学と様子の報告

(3)面談

面談名	開催日	内容
内田クリニック医療相談	8月19日	新型コロナウイルス陽性疑い、陽性者対応について
	9月16日	インフルエンザ予防接種日程調整
	10月7日	インフルエンザ予防接種について
	12月9日	
	2月24日	医療相談

面談名	開催日	内容
利用者個別面談	2月20～28日	活動、様子報告、支援計画の提示
	3月1～21日	活動・近況報告、聞き取り
新規利用者契約	3月10日	新規利用についての説明、契約

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
相談支援現任研修	10月31日	制度の動向、スーパービジョン、他職種との連携他
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修	12月14日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修
相談支援現任研修	1月16日	グループスーパービジョン、ロールプレイ
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者補足研修	1月20～31日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者補足研修

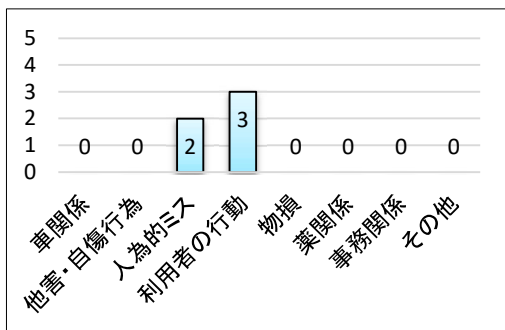
8、 行事

行事名	開催日	内容
えぼっくハウス・やなぎこんぶ施設見学会	8月2,3日	えぼっくハウス・やなぎこんぶ概要説明、活動見学
避難訓練	9月15日	地震を想定した避難訓練
湘南養護学校3年生現場実習	10月3～14日	来年度利用に向けての活動参加
避難訓練	12月1日	火災を想定した避難訓練と、消防署への通報訓練
成人のお祝い	1月9日	プレゼント進呈、記念写真撮影
花見	3月30日	買い物、花見

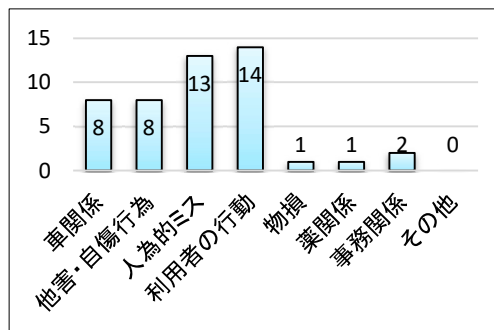
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 5 件



(3) 事故報告 47 件



10、重点課題

- ① コロナウイルス感染対策
発症、感染疑い、感染時の情報共有と迅速な対応。感染予防の徹底。家族との連携。
- ② 安全な活動の計画と実施
コロナ禍(3密)を意識しての環境整備、安全、安心な活動、イベントの実施。
- ③ 個別支援計画・アセスメントシートの充実と情報の共有。

11、目標

- ① コロナウイルス感染者ゼロ
ワクチン接種(嘱託医との連携)。発症、感染状況の情報共有(さくら連絡網の活用)。
- ② コロナ禍における、安全、安心な活動の実施。
外部との接触を最小限に抑えながらイベント(初詣、花見、クリスマス、バーベキュー)を実施する。
- ③ 会議の定期開催(オンライン会議の検討)にて情報共有し、アセスメントシート、個別支援計画に生かしていく。

12、総括

- ① 今年度もコロナウイルス感染症に翻弄された1年となった。利用者、職員共に感染者が出てしまい数日事業所を閉鎖せざるを得ない状況もあり、利用者、家族には負担をかける事となった。同居人の感染時や濃厚接触者の特定等、毎回同じ状況がない中で冷静な判断を見失い、利用者、家族、職員も含めコロナウイルス感染症に大きく影響を受けてしまった。5類に引き下げられた現在、今後は冷静に状況を見極めて対応する事が重要と感じている。
- ② 新規登録者はいなかったものの、退会者出ずに利用状況は維持する事が出来ている。
- ③ 安全を最優先に活動し、感染予防、3密を避けながらの活動を実施、節分の豆まきや、花見等の行事も徐々に復活している。
- ④ 月1回の支援会議を復活し、支援の向上、情報共有ができています。

やなぎこんぶ(平塚市中原2-6-63)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

4、事業収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
開所日数	21	20	22	21	21	22	127
件数	147	129	148	141	133	151	849
平均件数(1日あたり)	7.0	6.5	6.7	6.7	6.3	6.9	6.7
障害福祉サービス収入(単位:千円)	2,360	2,056	2,395	2,279	2,124	2,437	13,651
平均単価(単位:円)	16,054	15,938	16,182	16,163	15,970	16,139	16,074
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	206	181	207	197	186	211	1,188
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	21	22	20	20	20	23	253
件数	143	149	133	137	131	158	1,700
平均件数(1日あたり)	6.8	6.8	6.7	6.9	6.6	6.9	6.7
障害福祉サービス収入(単位:千円)	2,336	2,416	2,162	2,234	2,135	2,574	27,508
平均単価(単位:円)	16,336	16,215	16,256	16,307	16,298	16,291	9,279
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	200	209	186	192	183	221	2,379

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者8名(男性6名、女性2名)

(2)年齢構成

23歳～32歳、平均年齢27.8歳(男性27.8歳、女性27.5歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	5	3	0	0	8		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	0	0	0	0	0	0	0

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	1	2	3	6
女性	0	0	0	1	1	0	2
計	0	0	0	2	3	3	8

6、職員体制

常勤職員2名

(管理者・サービス管理責任者1名、生活支援員(他兼務))

非常勤職員3名

(看護師2名(他兼務)、生活支援員5名(他兼務含))

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月27日 6月22日 7月27日 9月28日 10月26日 11月30日 12月21日 1月25日 2月15日 3月22日	支援検討、情報交換

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
生活介護等事業所情報交換会	6月17日	各事業所より近況報告

(3)面談

面談名	開催日	内容
利用者個別面談	2月20日 3月2～8日	活動、様子報告、支援計画の提示

(4)研修・説明会

研修名	開催日	内容
サービス管理責任者更新研修	10月26日	制度の動向、サービス管理責任者の役割、他職種連携他

8、行事

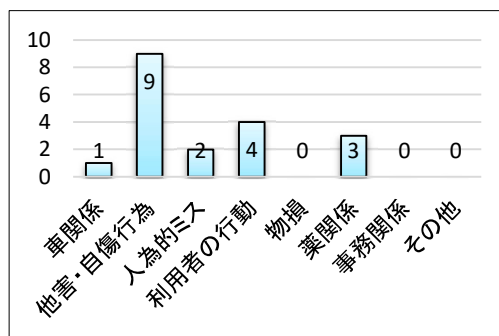
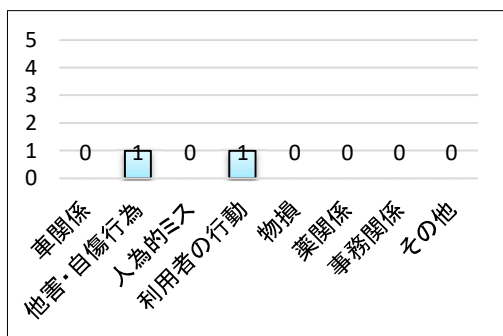
行事名	開催日	内容
えぼつくハウス・やなぎこんぶ施設見学会	8月2,3日	えぼつくハウス・やなぎこんぶ概要説明、活動見学
避難訓練	9月15日	地震を想定した避難訓練
	11月23日	火災を想定した避難訓練と、消防署への通報訓練

9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 2 件

(3) 事故報告 19 件



10、重点課題

- ① コロナウイルス感染対策
発症、感染疑い、感染時の情報共有と迅速な対応。感染予防の徹底。家族との連携。
- ② 安全な活動の計画と実施
コロナ禍(3密)を意識しての環境整備、安全、安心な活動、イベントの実施。
- ③ 個別支援計画・アセスメントシートの充実と情報の共有。

11、目標

- ① コロナウイルス感染者ゼロ
ワクチン接種(嘱託医との連携)。発症、感染状況の情報共有(さくら連絡網の活用)。
- ② コロナ禍における、安全、安心な活動の実施。
外部との接触を最小限に抑えながらイベント(初詣、花見、クリスマス、バーベキュー)を実施する。
- ③ 会議の定期開催(オンライン会議の検討)にて情報共有し、アセスメントシート、個別支援計画に生かしていく。

12、総括

- ① 利用者、職員共に感染者が出てしまい数日事業所を閉鎖せざるを得ない状況もあり、利用者、家族には負担をかける事となった。同居人の感染時や濃厚接触者の特定等、毎回同じ状況がない中で冷静な判断を見失い、利用者、家族、職員も含めコロナウイルス感染症に大きく影響を受けた。5類に引き下げられた現在、今後は冷静に状況を見極め対応する事が重要と感じている。

- ② 安全を最優先に活動し、感染予防、3密を避けながらの活動を実施、節分の豆まきや、花見等の行事も徐々に実施している。
- ③ 月1回の支援会議を復活し、支援の向上、情報共有ができています。

キャロット工房(平塚市西真土1-7-56)

1、実施事業

就労継続支援B型

2、目的

障害者総合支援法に規定される就労支援B型事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な支援を行う。

3、事業内容

生産活動、外出、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

4、事業収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
開所日数	21	20	22	21	21	22	127
件数	441	411	488	447	450	453	2,690
平均件数(1日あたり)	21.0	20.6	22.2	21.3	21.4	20.6	21.2
障害福祉サービス収入(単位:千円)	3,134	2,911	3,459	3,167	3,177	3,219	19,067
平均単価(単位:円)	7,107	7,083	7,088	7,085	7,060	7,106	7,088
就労支援事業収入(単位:千円)	1,018	437	1,341	440	600	858	4,694
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	21	22	20	20	20	23	253
件数	444	398	451	417	397	478	5,275
平均件数(1日あたり)	21.1	18.1	22.6	20.9	19.9	20.8	20.9
障害福祉サービス収入(単位:千円)	3,179	2,825	3,209	2,994	2,868	3,434	37,576
平均単価(単位:円)	7,160	7,098	7,115	7,180	7,224	7,184	7,124
就労支援事業収入(単位:千円)	552	693	752	637	1,171	558	9,057

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者26名(男性17名、女性9名)

(2)年齢構成

20～30歳、平均年齢24.3歳(男性24.8歳、女性23.3歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	5	14	6	1	26			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	2	2				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	0	0	2	1	0	0	3	

(4)男女区分の内訳

区分	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	2	0	0	1	12	2	0	17
女性	0	0	0	6	2	1	0	9
計	2	0	0	7	14	3	0	26

6、職員体制

常勤職員7名

(管理者1名、サービス管理責任者1名、職業指導員2名、生活支援員3名(他兼務含))

非常勤職員3名

(生活支援員3名(他兼務含))

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月12日 5月10日 6月14日 7月12日 9月13日 10月11日 12月13日 1月10日 2月14日 3月14日	支援検討、情報交換

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
日本基板ネットワーク総会	6月2日	活動報告
日本基板ネットワーク報告会議	1月17日	首都圏基板ネットワークについて

(3)面談

面談名	開催日	内容
ご家族面談	5月24,27日 6月 7,9,14,15,21,23,28日 7月7日 12月 8,15,19,20,21日	個別支援計画について

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
安全運転管理者研修	9月30日	安全運転管理者として
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修	9月22日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者補足研修	1月20～31日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者補足研修
関西基板ネットワーク見学	1月31日	情報共有

8、行事

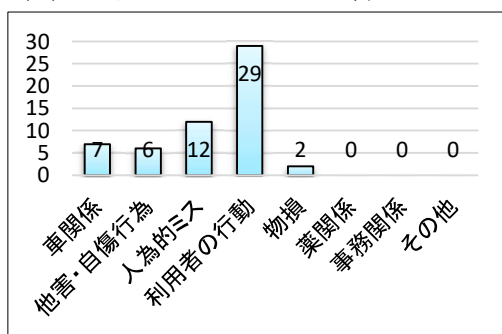
行事名	開催日	内容
見学者来訪	4月11日	キャロット工房の作業内容の説明・見学
福祉事業所合同説明会	5月25日	事業所の説明
相談支援事業所来訪	5月26日	利用者見学、情報交換
立ち入り検査	5月27日	キャロット工房・グリーン工房消防検査
事業見学	5月31日	工場見学
実習受入れ	6月6～10,13～17日	作業実習
相談支援事業所来訪	6月20日	利用者見学、情報交換
作業見学者来訪	6月27,28,29日	パソコン、線剥離作業見学
関西基板ネットワーク事務局長来訪	7月5日	情報交換
合同見学会	7月5,19,26日	キャロット工房の作業内容説明
新潟出張	7月29日	他事業所(就労継続支援B型事業所)見学
日本基板ネットワーク出張	8月17日	出張解体実体験
ハードディスク物理的破壊	8月29日	湘南工科大学へ出張解体
避難訓練	9月29日	地震を想定した避難訓練
ハードディスク解体作業	10月6,12,17日	神奈川工科大学へ出張解体
	10月27日	神奈川学園へ出張解体
パソコン回収	10月29日	湘南バルマーレテントブースにてパソコン回収
避難訓練	11月28日	火災を想定した避難訓練と、消防署への通報訓練
実習生受け入れ	11月14～18日	キャロット工房体験
ハードディスク解体作業	11月9,30日	神奈川工科大へ出張解体
	11月16日	湘南工科大学へ出張解体
自主回収基板出荷	11月25日	アンカーリサイクルポートへ出荷
ハードディスク解体作業	12月1,22日	神奈川学園へ出張解体
	12月6,9日	湘南工科大へ出張解体
関西基板ネットワーク見学	12月19,20日	施設見学、情報交換

行事名	開催日	内容
ハードディスク解体作業	12月21日	神奈川工科大へ出張解体
成人のお祝い	1月17日	食事会、プレゼント進呈、記念写真撮影
ハードディスク解体作業	1月19日	神奈川学園へ出張解体
	1月20日	湘南工科大へ出張解体
	1月27日	神田国際特許商標事務所へ出張解体
事業所見学	1月27日	アンカーリサイクルポート来訪
ハードディスク解体作業	2月21,28日	湘南工科大学へ出張解体
パソコン機材出荷	2月22日	(株)万年へパソコン機材出荷
自主回収パソコン基板出荷	2月27日	(株)アンカーリサイクルポートへ基板出荷
ハードディスク解体・パソコン引き取り	3月2日	神奈川学園へ出張解体
	3月28,31日	湘南工科大学へ出張解体

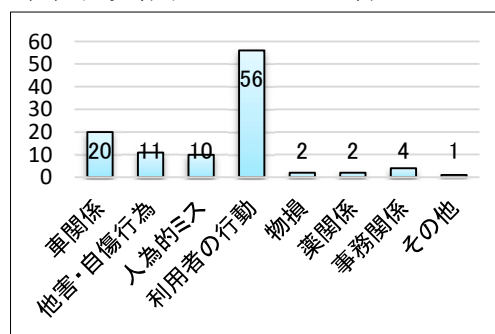
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 56 件



(3) 事故報告 106 件



10、重点課題

- ① 感染症予防対策と利用者の健康状態の把握。
- ② 定期的に支援検討会議が実施できない中での職員同士の情報共有。
- ③ 作業場の整理整頓と部品管理。

11、目標

- ① キャロット工房を、利用者にとっての働く場と安心できる居場所にしていく。
- ② 環境保護への貢献と利益率の高い作業を展開していき、利用者の工賃アップにつなげる。
- ③ 外部企業や地域住民との信頼関係を構築していく。

12、総括

- ① 感染症への取り組みについては利用者のご家族と協力をして検温・体調確認をしていただき、変わった様子があった場合はやり取りを行ってきた。感染症の蔓延が起きてしまったことは反省材料だが、同じようなことが起きないように感染予防対策は継続して徹底していく。
- ② キャロット工房を安心できる居場所として機能させていくために、毎月利用者のケース検討を重ねて来た。
- ③ 利用者工賃アップの為の取り組みとしてパソコン事業の拡大と、青果店「ことぶき」を閉鎖し新たに野菜の配達事業開始、銅線はくり事業を導入した。工賃アップにつながったが、それ以上にリサイクル事業を通じてさまざまな業種の企業や地域との関わりを経験することができた。
- ④ 作業による反省点としては整理整頓の徹底が出来ないこと。常に意識して改善していきたい。
- ⑤ 職員同士の情報共有については毎月の支援検討会議の実施とみえるくんの活用、職員相互の報告・連絡・相談の活発化を進めたい。

トムトム相談室(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

1、実施事業

計画相談支援・障害児相談支援

2、目的

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援を行うことにより、ハンディキャップのある方々及びご家族の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービスを利用できるようにすることを目的とする。

3、事業内容

(1) 計画相談支援

① サービス利用支援

サービス等利用計画の作成など

② 継続サービス利用支援

モニタリングの実施、サービス等利用計画の見直し、変更など

(2) 障害児相談支援

① 障害児支援利用援助

障害児支援利用計画の作成など

② 継続障害児支援利用援助

モニタリングの実施、障害児支援継続利用計画の見直し、変更など

4、事業収入

(1) 計画相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
サービス利用支援件数	6	2	6	7	0	9	30
サービス継続支援件数	20	24	22	23	24	27	140
障害福祉サービス収入(単位:千円)	393	387	423	459	352	540	2,554
平均単価(単位:円)	15,115	14,885	15,107	15,300	14,667	15,000	15,012
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス利用支援件数	8	10	3	4	4	12	71
サービス継続支援件数	17	16	25	27	16	19	260
障害福祉サービス収入(単位:千円)	387	406	411	443	303	492	4,996
平均単価(単位:円)	15,480	15,615	14,679	14,290	15,150	15,871	15,097

(2) 障害児相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
サービス利用支援件数	1	1	2	1	1	0	6
サービス継続支援件数	2	2	1	9	0	5	19
障害福祉サービス収入(単位:千円)	51	50	54	162	19	47	383
平均単価(単位:円)	17,000	16,667	18,000	16,200	19,000	9,400	16,044
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス利用支援件数	1	3	0	1	0	3	14
サービス継続支援件数	1	9	0	1	0	1	31
障害福祉サービス収入(単位:千円)	67	200	0	35	0	261	946
平均単価(単位:円)	33,500	16,667	0	17,500	0	65,250	19,099

5、職員体制

常勤職員3名
(管理者1名(他兼務)、相談支援専門員2名(他兼務含))

6、会議・研修

(1)内部会議

なし

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	5月20日	障がい福祉課、福祉生活課からの情報提供、今年度の取り組みについて
平塚市計画相談支援連絡会	7月26日	報酬改定について、申請書の取り扱いについて
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	11月22日	情報提供、意見交換
平塚市計画相談支援連絡会	3月6日	講義「計画策定におけるアセスメントの重要性」 情報交換、連絡事項

(3)面談

面談名	件数	内容
利用者面談	272件	平塚市、二宮町の利用者面談
	106件	茅ヶ崎市、寒川町の利用者面談

(4)研修・説明会

研修名	開催日	内容
障害支援区分認定調査員研修	5月26日	障害支援区分認定調査を実施するにあたっての必要な知識等について
平塚市相談支援専門員研修会	11月29日	グループスーパービジョンの手法を用いた事例検討(計画相談支援連絡会を兼ねる)

7、行事

なし

8、設備管理業務

(1)主な設備(整備)

内容、執行額等は別紙決算報告書のとおり

(2)施設設備の購入・修理・工事

なし

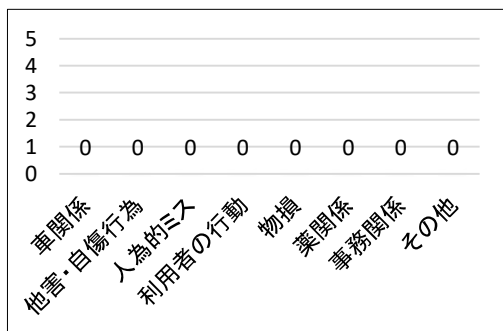
(3)車両の車検及び点検・修理

なし

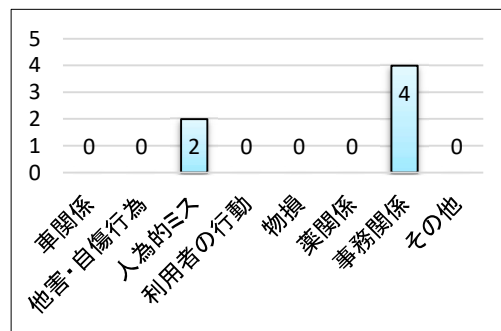
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 0 件



(3) 事故報告 6 件



10、 重点課題

<茅ヶ崎支部>

- ① 利用者のニーズによって対応できる福祉サービスを中心とした社会資源にばらつきがあるので、どのようにニーズに対しての具体的な対策を行っていくか。
- ② コロナウィルスの影響で利用者・ご家族と対面での面談が思うように行かず苦慮したことを踏まえ、感染予防対策を徹底した上で、できる限り対面での面談を実施し、詳細を聞き取れるように努める。
- ③ 会議・研修等に参加し行政・地域の関係機関との連携を図る。

<平塚支部>

- ① 利用者のニーズによって対応できる福祉サービスを中心とした社会資源にばらつきがあるので、どのようにニーズに対しての具体的な対策を行っていくか。
- ② 利用者を中心としたニーズの充足のために支給量の調整等を行っているが、近年、行政とのやりとりがスムーズにいかない場合もあり、そのような状況で相談員としての役割をどのように行っていくか。
- ③ コロナウィルスの影響で、数年前とは状況が大きく変わってしまっている状況で、今後どのように面談、訪問等の実施を行っていくか。
- ④ 相談員の交代によって生じる引き継ぎ業務を円滑に行っていく必要がある。

11、 目標

<茅ヶ崎支部>

- ① 具体的な課題に対して、有効な対応策が見つけにくい状況も想定される場合に(例えば、家族の支援が難しくなった際に家族に代わる具体的な支援など)できる限りの対応を行っていく。
- ② 利用者のニーズに沿うよう情報を収集し、各関係機関との調整、連携でサービスに繋げる。
- ③ ご本人・ご家族・各関係機関への聞き取りを円滑に行えるように努める。

<平塚支部>

- ① 具体的な課題に対して、有効な対応策が見つけない状況も想定される場合に（例えば、家族の支援が難しくなった際に家族に代わる具体的な支援など）できる限りの対応を行っていく。
- ② 支給量等で基準を超えても必要とするケースなどに関しては、相談員として、支援の必要性などを行政等にも個別の案件として訴えていく事で課題の解決に努める。また他の支援者等とも連携して対応していく。
- ③ 感染症への対応も変化が大きい状況であるが、感染のリスクと面談、訪問等の優先順位を考慮して、その都度具体的な対応を実施していく。
- ④ 業務の優先順位とバランスを考えながら、利用者にとっての不利益が起きないように引き継ぎ業務を丁寧に行っていく。

12、総括

<茅ヶ崎支部>

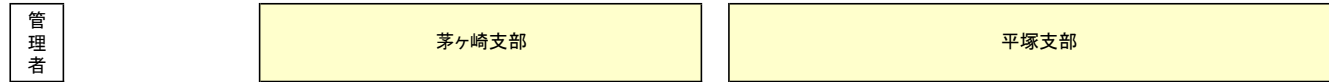
- ① 児童から成人に移行する際、ご本人・ご家族や学校・関係機関との連携を密にし、情報共有を行った。
- ② 近隣に開所されたグループホームなどを見学して利用者への情報提供を随時行い、短期入所への利用につなげた。
- ③ 緊急時の対応についてご本人、ご家族と各関係機関とケース会議等を行い対応した。
- ④ 茅ヶ崎市の発達障害専門相談の研修会・巡回相談を利用しながら、職員の研修の機会を得たり、各事業所・行政との連携を行ったりした。
- ⑤ ご家族とモニタリング機会のタイミングが合わないことが多く、聞き取りに時間がかかり、個別支援計画書の作成、提出が遅れがちになることがあった。

<平塚支部>

- ① 社会資源に関しては、グループホームの増加が続いている。従来の介護サービス包括型に加え、支援度が高い利用者も利用可能な日中サービス支援型のグループホームができてきている。将来施設入所を考えていた方が、このタイプのホームでの短期入所利用からの入居のケースがあり、今後増えていくと思われる。
- ② 余暇活動としての移動支援のニーズが増えていっている反面、ヘルパー不足によりサービスが利用できていないケースが目立っている。
- ③ コロナウィルスの影響は続いており、一時期閉鎖となった事業所が多かった。その間のご家族によるご本人への介護負担の増加が見られた。
- ④ 相談支援専門員が変更となったことで、充分に関係性が築けずニーズを正確に把握することができなかったこともあった。
- ⑤ コロナの影響で開催されてなかった市の相談支援連絡会が再開され、行政や他の事業所と連携を行った。

特定非営利活動法人トムトム

別紙1: 令和4年度組織図



エリア	事業所名	サービス名	分室	職員配置
	本部	総務部 経理・労務・庶務		非常勤 常勤
	茅ヶ崎市 モンキーポッド	茅ヶ崎市 日中一時支援		非常勤 常勤
	茅ヶ崎市 あいあいクラブ	放課後等デイサービス		非常勤 嘱託 常勤
	茅ヶ崎市 からんころん	生活介護		非常勤 嘱託 常勤
	茅ヶ崎市 とむ郎	共同生活援助		非常勤 常勤
	茅ヶ崎市 トムトム相談室	障害児相談支援		常勤
	平塚市 キャロット工房	就労継続支援B型		非常勤 常勤
	平塚市 やなぎこんぶ	生活介護		非常勤 常勤
	平塚市 えぼつくハウス	生活介護		非常勤 常勤
	平塚市 えぼハウ	平塚市 日中一時支援		非常勤 派遣
	平塚市 ぶんぶん	平塚市 移動支援		非常勤 派遣
	平塚市 ゆうゆうクラブ	放課後等デイサービス		非常勤 常勤

職員:
 常勤: 32名
 嘱託: 2名
 非常勤: 73名
 アルバイト: 0名
 合計: 107名

令和5年3月31日時点